

主直日誌

11月15日（日）天候 b c

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

伯方島抜錨 小型船舶（機関） 航路研究発表会 航路実習（備讃瀬戸）

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

私は前回の航海で、漁業や船の運航の仕方などを、学びました。今回の航海では、瀬戸内海航路の操船方法や海上交通安全法などを学びたいと思っていました。

今日は備讃瀬戸北・東航路を航行しました。航路では、実際にデッキに立つと多くの漁船が航路上を通過したり、貨物船やフェリーなどの巨大船なども通過するので実際に現場に立って緊張感を感じる事も大切だと感じました。

専攻科生が行った航路研究発表会では、明日航行する来島海峡航路の説明があり、世界で唯一「順中逆西」が適用されているということや、なぜそのように設定されているのかなど教わりました。

ワッチでは船位をクロスベアリングで求めることも行うので、学校で行った事を思い出しながら行い、簡単に出来るようになりたいと考えています。



瀬戸内海の航路を通過し、機関室もブリッジも緊張感があります。

明日はいよいよ世界の難所、来島海峡航路を通ります。